

第2回史学会例会 2001 年度 日東西合同例会企画「家畜研究会報告会」活動報告

10月12日(金)於:本学北1号館-402教室

参加人数-19名

岡田尚文(学習院大学大学院博士後期課程)「「家畜」研究の現在-家畜研究会例会を開催するにあたって-」

益満義裕(学習院大学大学院博士後期課程)「中国古代におけるブタの飼育についての一試論」

真嶋亜有(国際基督教大学大学院博士後期課程)「肉食という近代-明治期日本における肉食軍事需要と肉食観の特徴-」

コメンテーター-市来弘志(学習院大学講師)

史学会例会として「家畜研究会」を開催した。今回は日本史・西洋史・東洋史の各分野からそれぞれ報告者を集って報告が行われ、コメンテーターとして市来氏に3報告の纏めをして頂くかたちとなった。それぞれ、精力的な研究報告となり、肉食に関わる社会問題が発生している昨今を歴史に考え直すよい機会にもなったと思われる。尚、研究会終了後は、巣鴨にて羊料理を食べつつ、参加者一同で懇親を深めることが出来た。

今研究会では、本学以外から報告者を招くことができ、また学部生をはじめとする参加者の交流を図りつつ盛況に終了したことをここに御報告申し上げます。報告者をはじめとする今研究会に御参集頂いた方、御協力頂いた方には深く御礼申し上げる次第です。

(文責 富田健司・M1)